

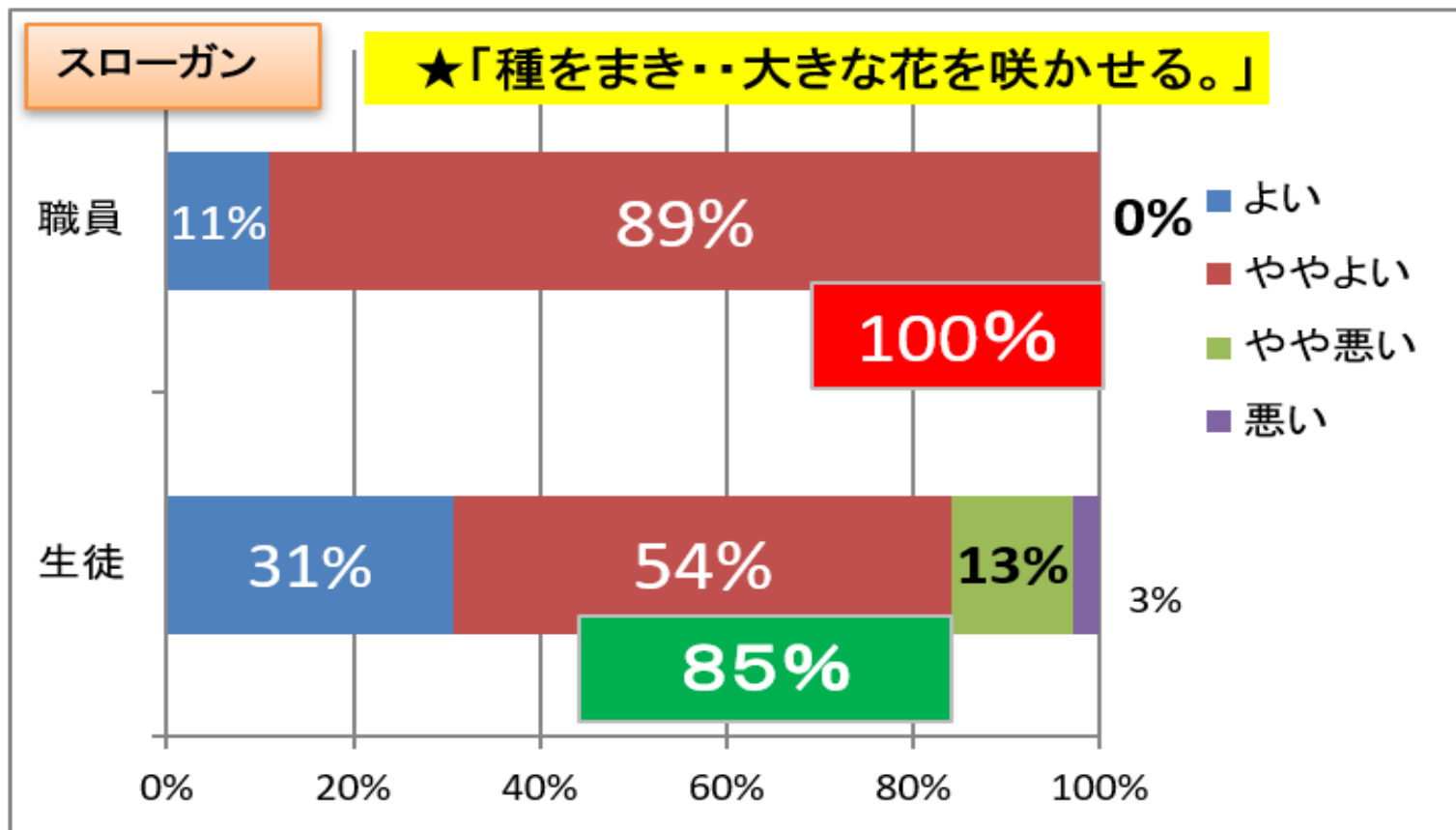
令和2年度 1学期学校評価

昨年度の1学期との比較

- ～ よりよい学校づくりに向けて ～
「**夢（目標）**という種をまき、**努力**という水をやり、
愛（励まし）という肥料を与え、
満足という大きな花を咲かせる。



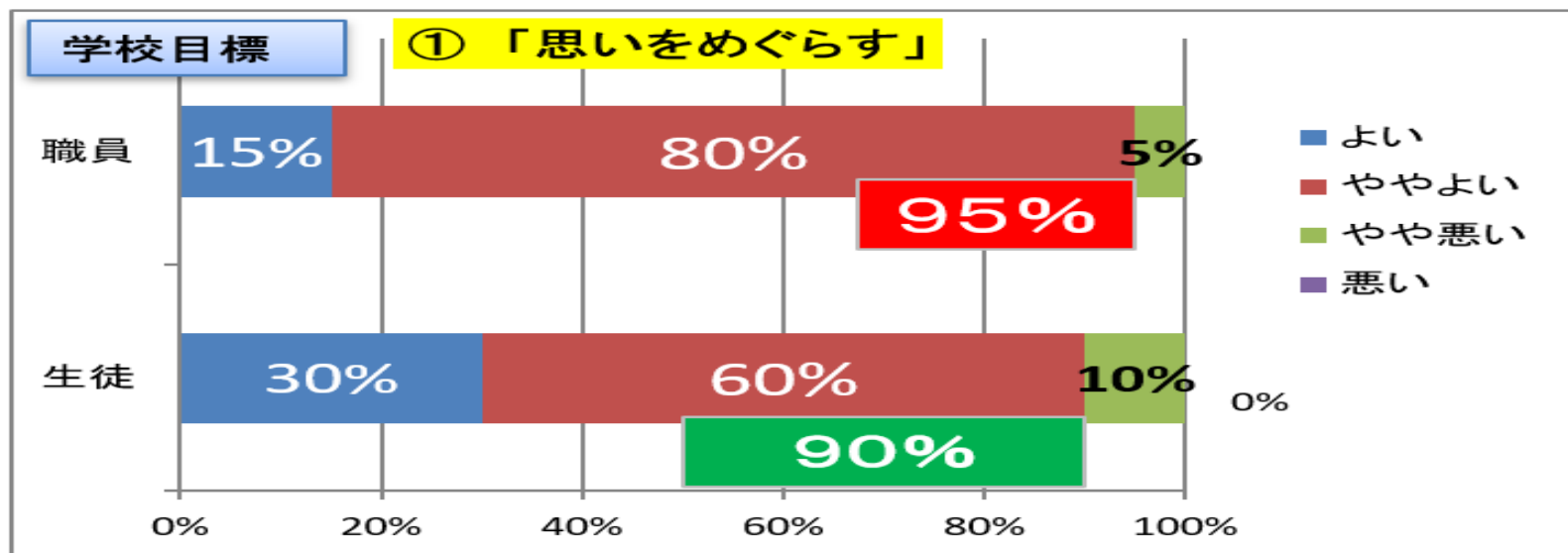
1 スローガン



教職員は、意識して取り組んでいるものの、生徒の意識がまだ高まっていない。
様々な機会をとおして「意識化」を図る必要がある。

2 学校教育目標

「**思いをめぐらし、自ら考え、判断し、**
他者と協働できるたくましい生徒の育成」



【職員質問】

「思いをめぐらせる」ことができるような取組をおこなうことができたか。

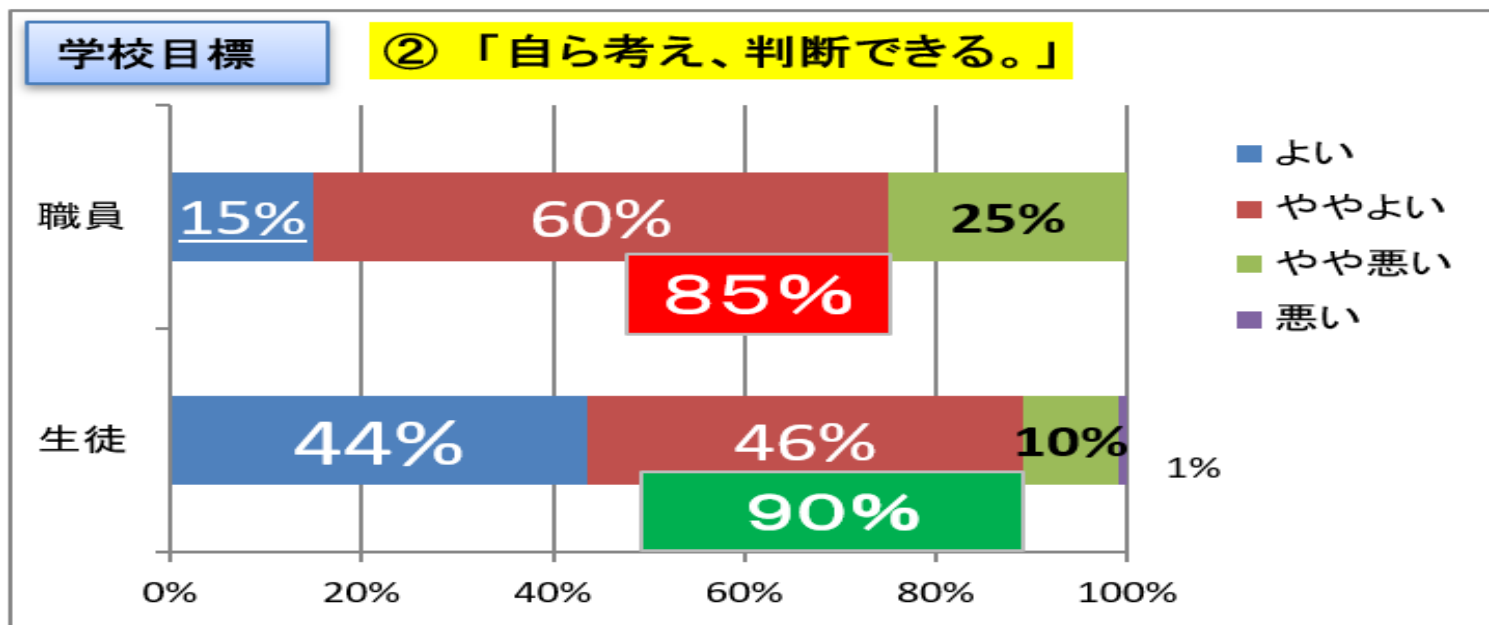
【生徒質問】

相手の立場や気持ちを考えた言葉かけや、行動ができている

「思いをめぐらせる」とい意識は、教職員、生徒ともに高い。
これからは、その思いが「行動」につながるようにしていく必要がある。

2 学校教育目標

「**思いをめぐらし、自ら考え、判断し、**
他者と協働できるたくましい生徒の育成」



【職員質問】

自ら考え、判断する機会を積極的に取り入れることができたか。

【生徒質問】

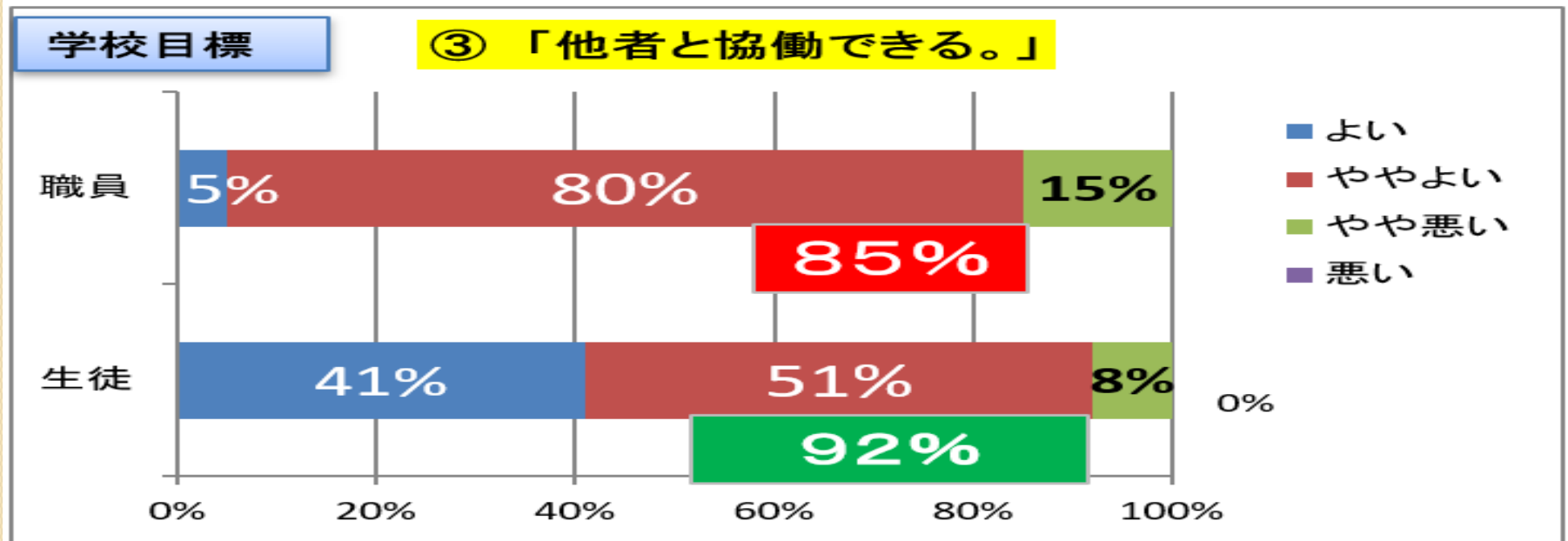
普段の生活や学習に取り組む中で、まず自分で考え、判断し、行動するようにしている。 ※ 自分で考えることをせず、人任せになっていなか。

教職員は、授業をとおして「自ら考え、判断する」機会をつくっていく必要がある。

生徒は、日常生活をとおして、自ら考え、判断するよう努める。

2 学校教育目標

「**思いをめぐらし、自ら考え、判断し、**
他者と協働できるたくましい生徒の育成」



【職員質問】

他者と協働する機会を積極的に取り入れることができたか。

【生徒質問】

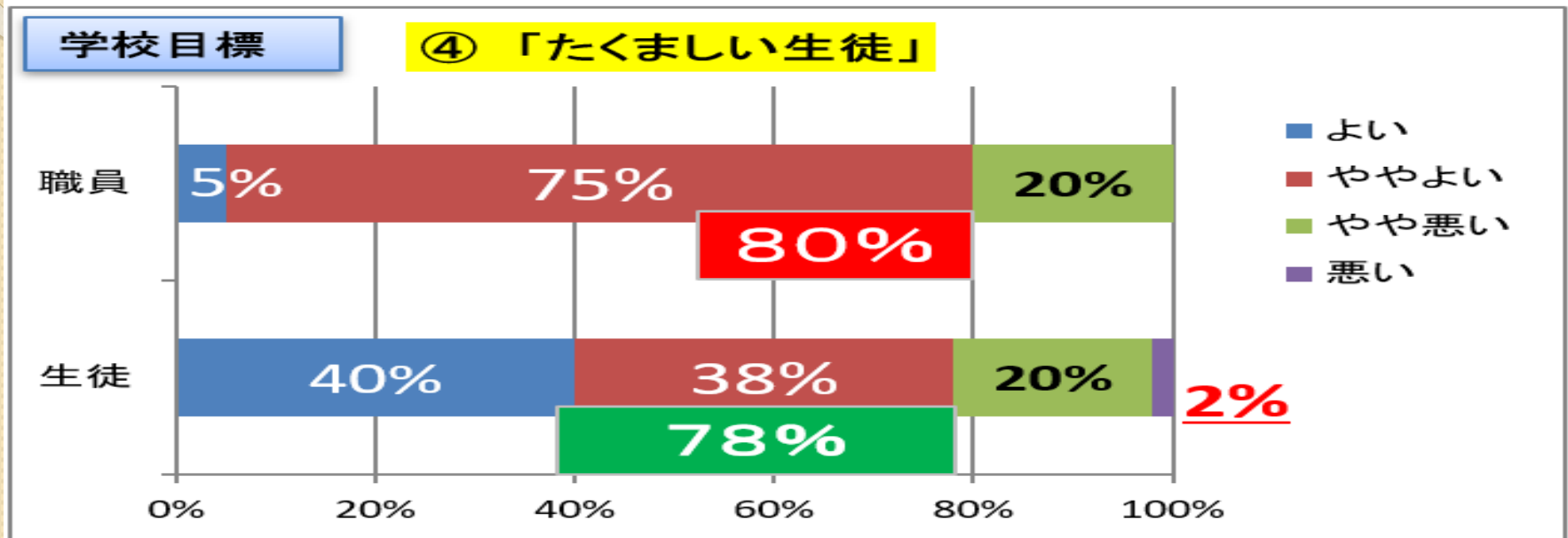
学校生活を送るうえで、他の人の意見や考えも取り入れながら、様々なことに取り組むことができている。

コロナへの対応、部活動、学級づくり等、様々な機会をとおして「他者と協働して取り組まなければならない機会」は数多くあります。

だからこそ「自ら積極的に協力する態度」が必要となる。

2 学校教育目標

「**思いをめぐらし、自ら考え、判断し、**
他者と協働できるたくましい生徒の育成」



【職員質問】

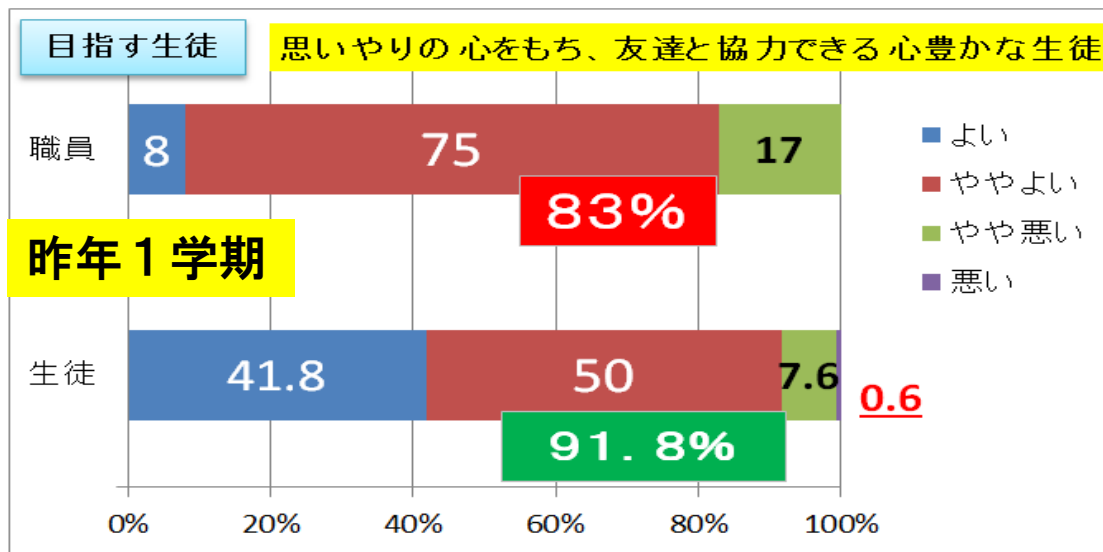
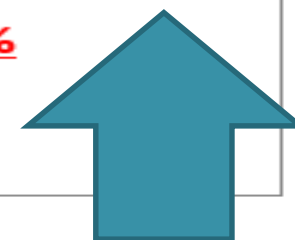
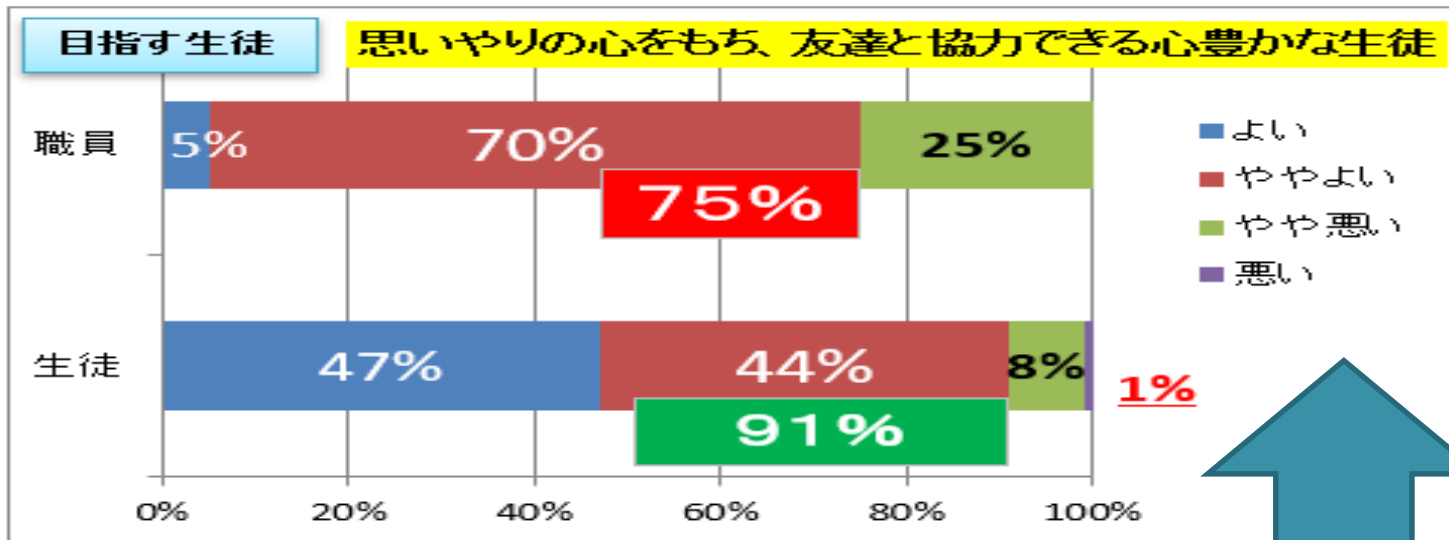
たくましい生徒を育成するための取組を行うことができたか。

【生徒質問】

失敗を恐れず、例えうまくいなくても「めげず」、「あきらめず」、何度でも挑戦し、精一杯取り組むことができています。

困難なことに出会うとどうしても「逃げてしまう」傾向にあることから、「たくましさ」の評価が低い。どうすれば「あきらめない強い意志」がもてるのかが課題である。

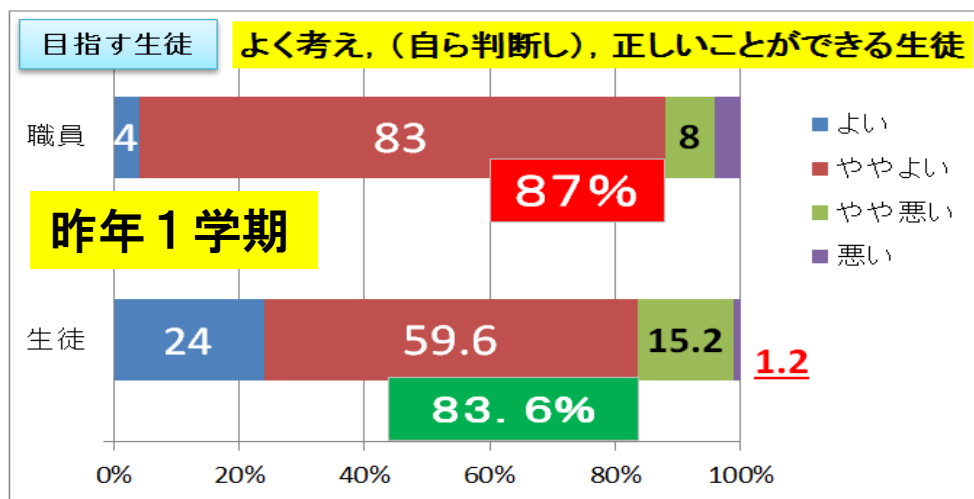
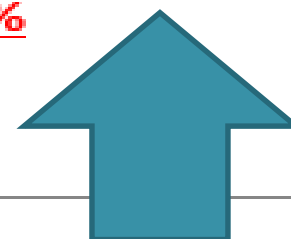
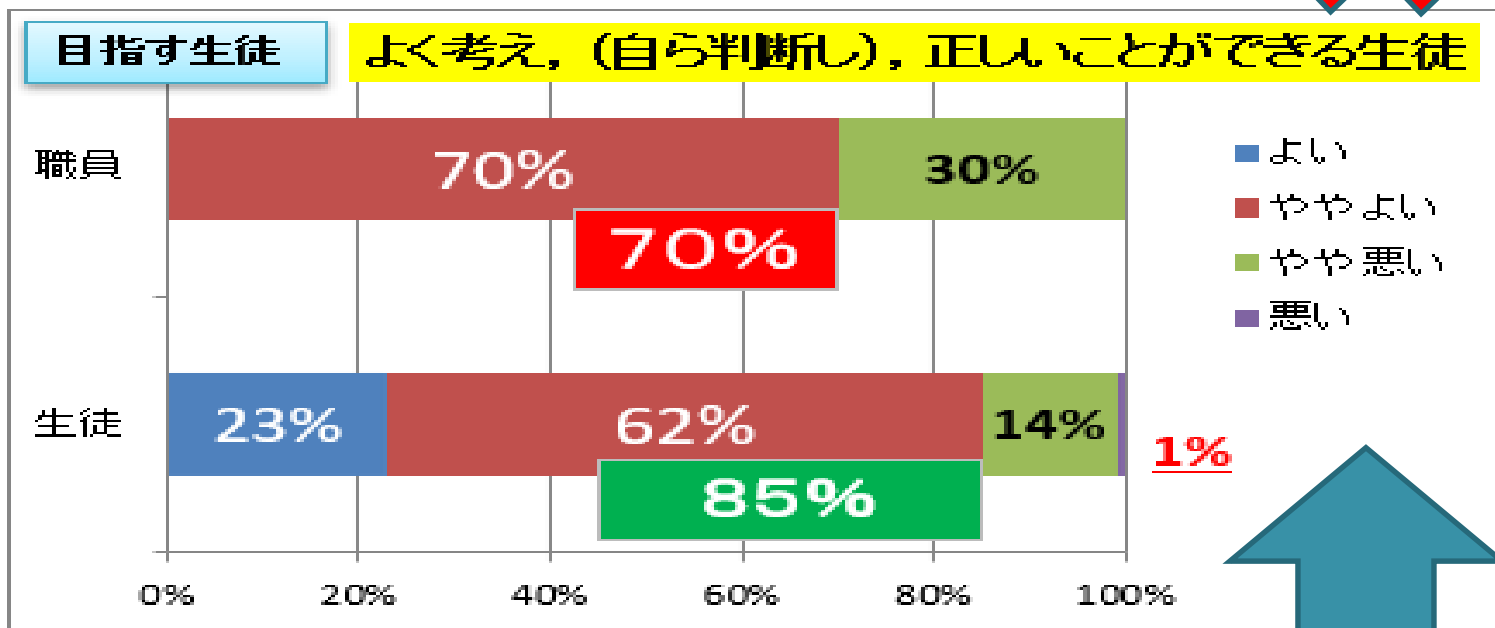
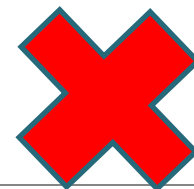
3 目指す生徒像



「思いやり」については、意識をして取り組んでいるようである。

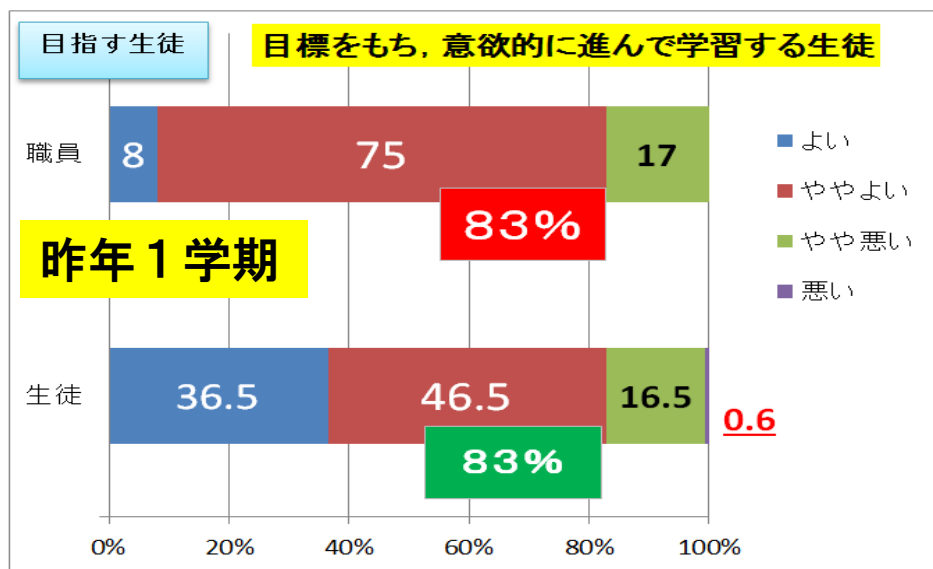
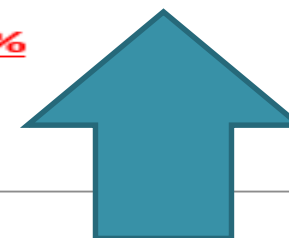
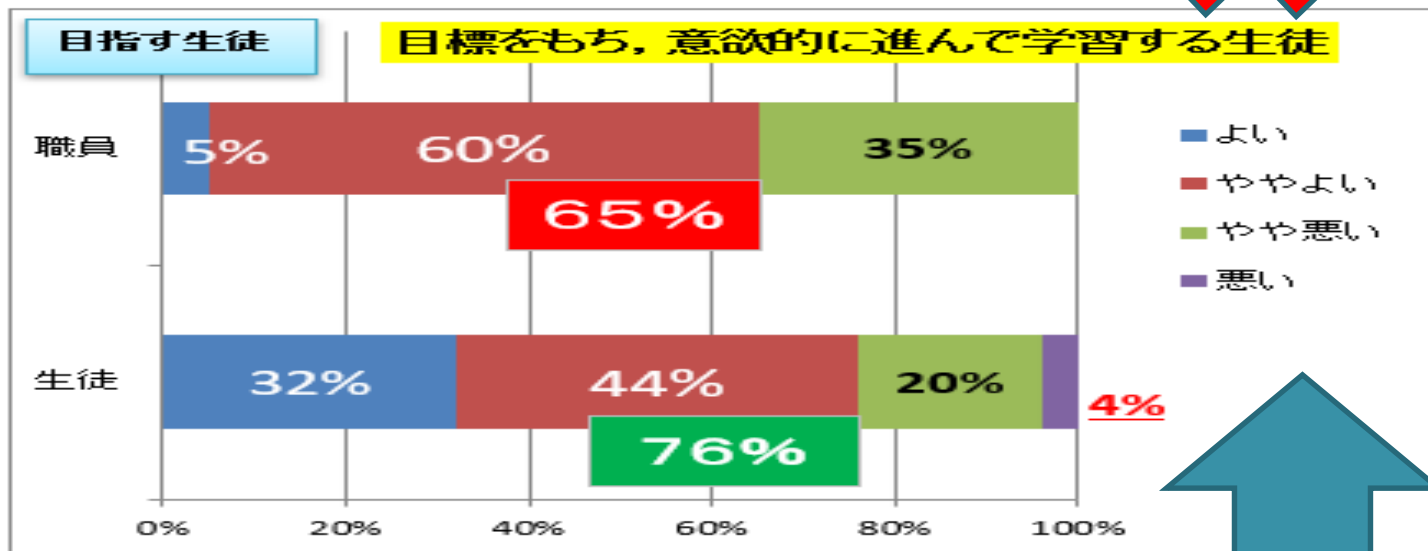
昨年度の1学期に比べて、やや低い結果となっている。

3 目指す生徒像



教職員は、授業を
ととして「自ら考え、
判断する」機会をつ
くっていく必要がある。
生徒は、日常生活を
ととして、自ら
考え、判断するよう
努める。

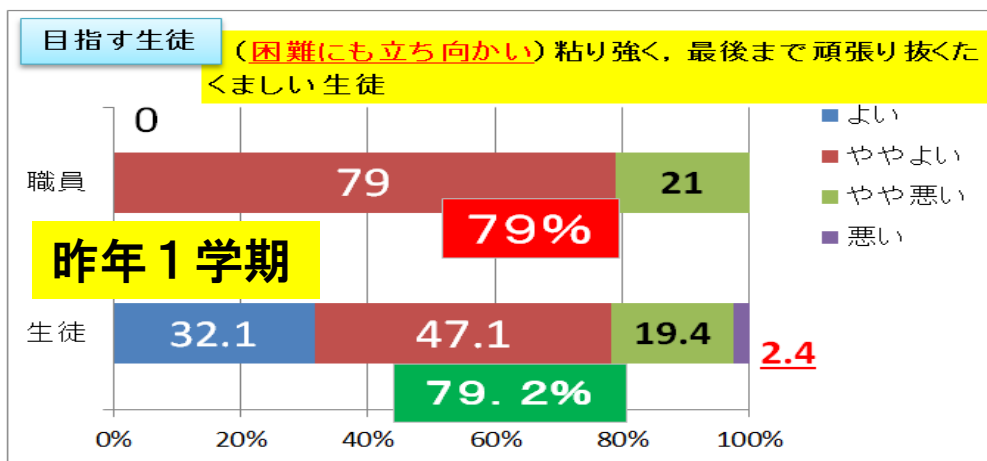
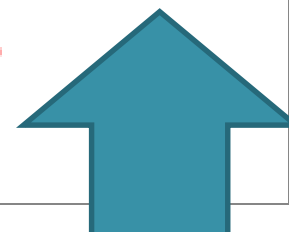
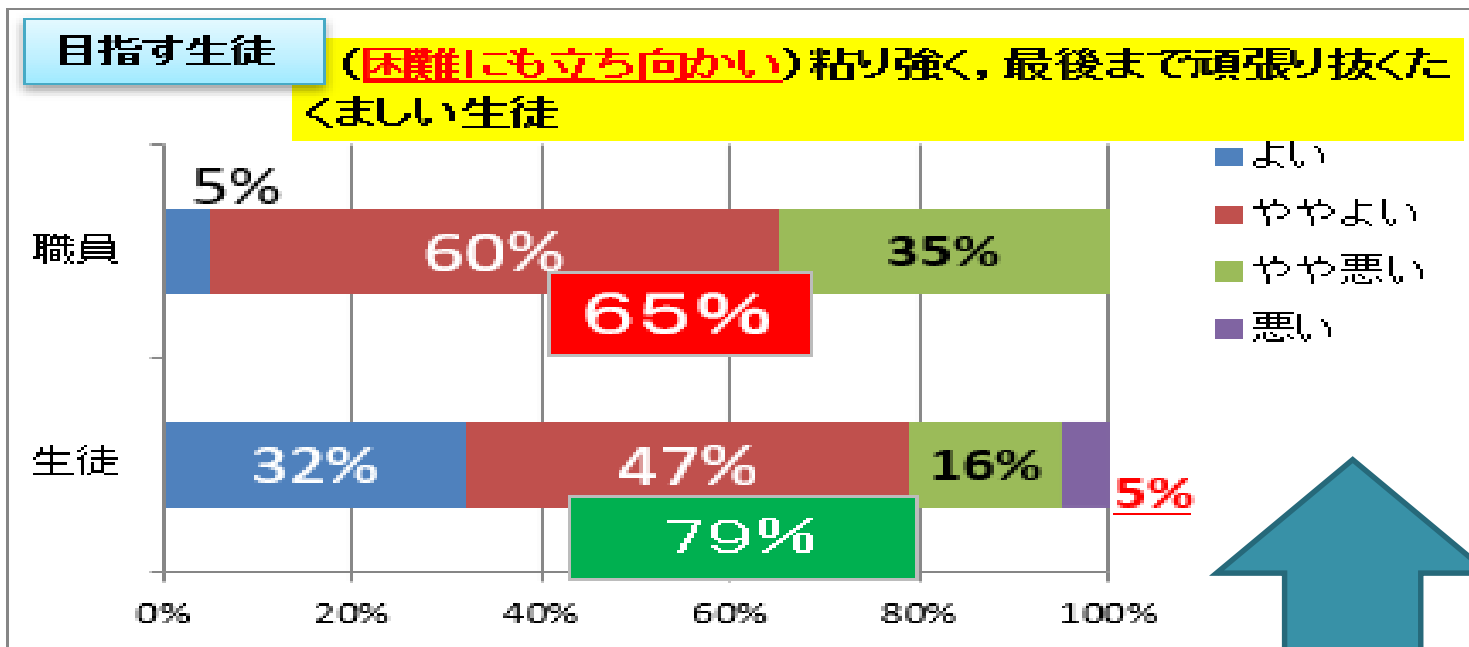
3 目指す生徒像



★「夢や目標」をもつことの大切さをしっかりと伝えていく必要がある。

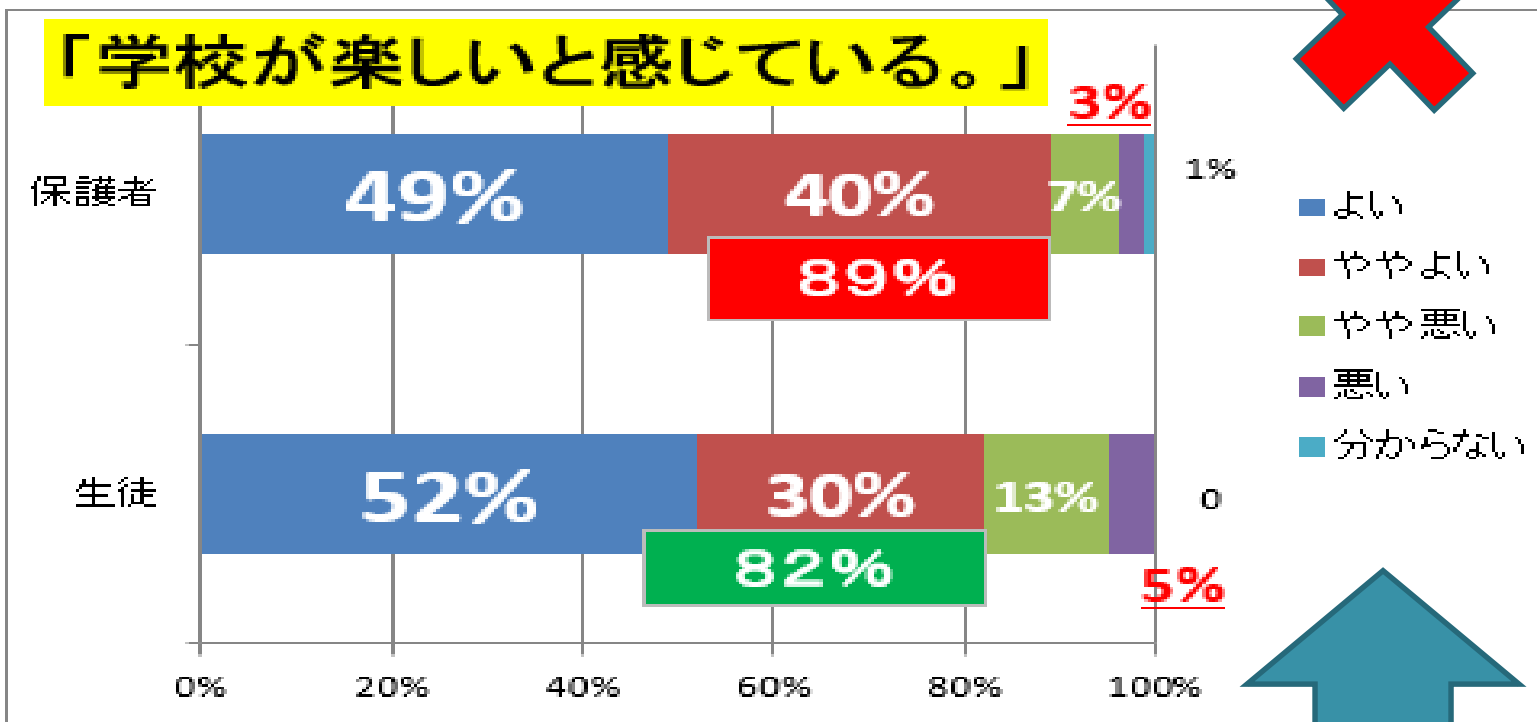
また、今学期は、意欲的に進んで学習する生徒が多くないと評価されている。

3 目指す生徒像

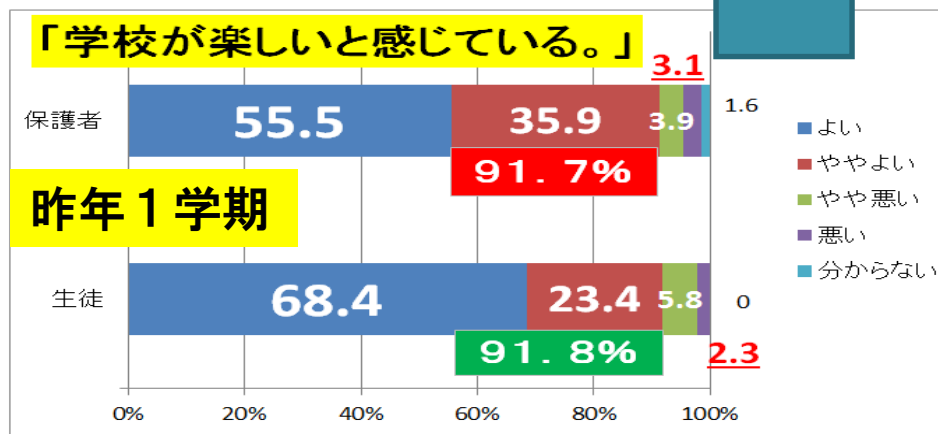


今学期は、様々な行事が中止となり、具体的に動く機会が少なかったためか、「粘り強く取り組む機会」が少なかったようである。

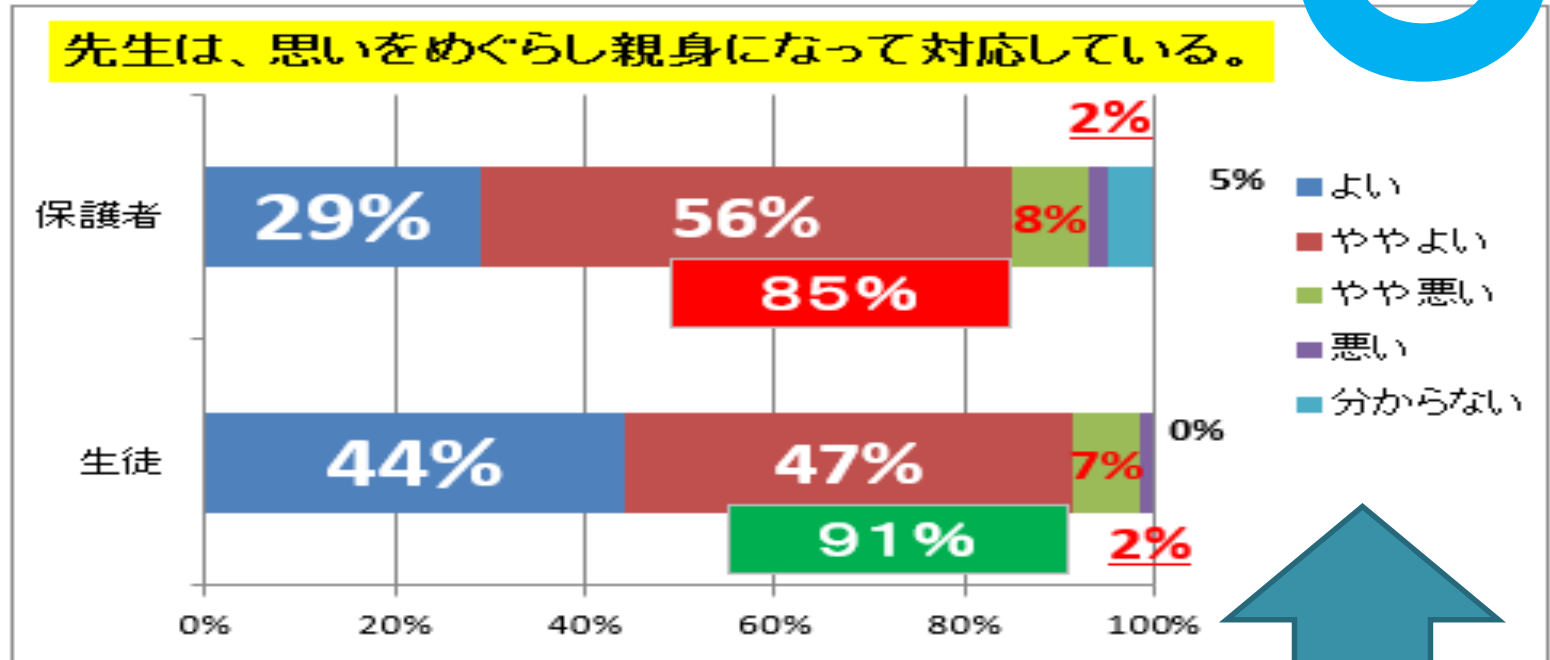
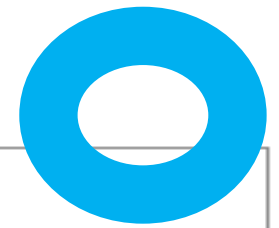
4 学校生活(充実感)



★ 昨年度と比較して、「楽しくない」と解答している生徒や保護者が多い。その原因をしっかりと聞き取ることがこれからの課題である。



4 学校生活(充実感)



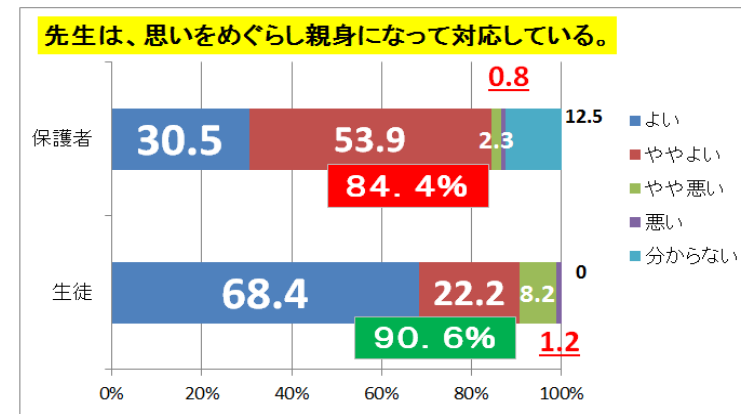
【保護者質問】

学校は、子ども一人一人に思いをめぐらし、優しさと厳しさをもって対応できている。

【生徒質問】

先生方は、思いをめぐらし、親身になって相談にのってくれる。

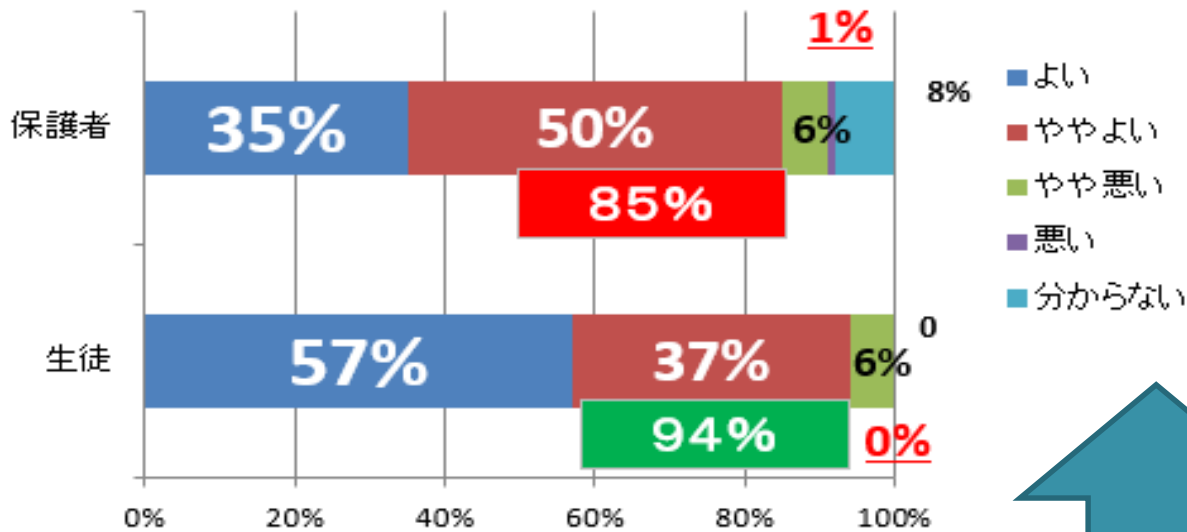
◎ 昨年度と比較して、生徒も保護者も、教師の「思いをめぐらす」ことへの評価は高い。



昨年1学期

4 学校生活(充実感)

「いじめ問題への対応について」



【保護者質問】

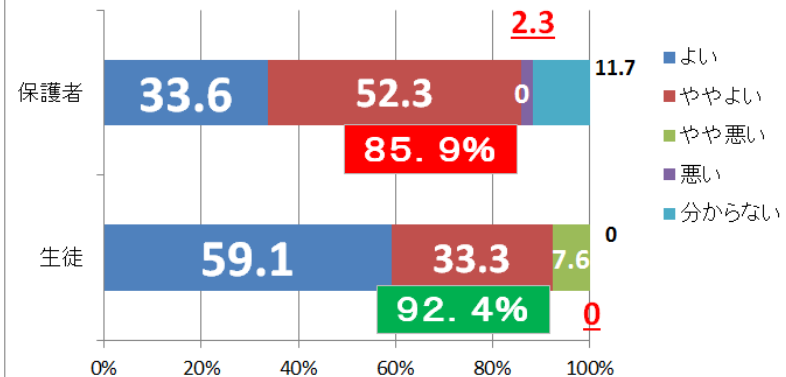
学校は、子どもたち同士のトラブルやいじめ等の問題に対して、誠実かつ誠意をもってしっかりと取り組んでいる。

【生徒質問】

友だちの考えや立場に思いをめぐらし、いじめや差別は絶対しないという強い気持ちと態度で生活できている。

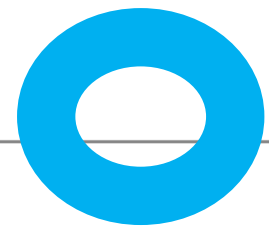
◎ 昨年度と比較して、生徒も保護者も、教師の「いじめ問題への対応」についての評価は低くない。

「いじめ問題への対応について」

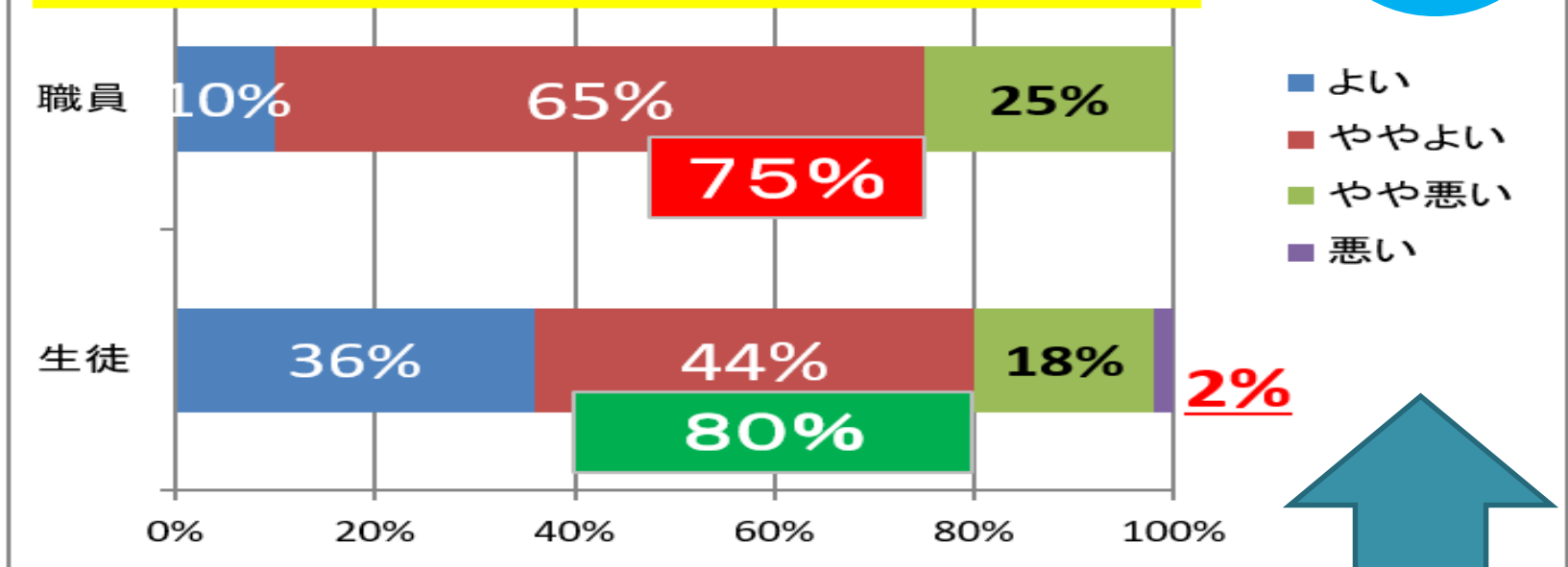


昨年1学期

5 学習面

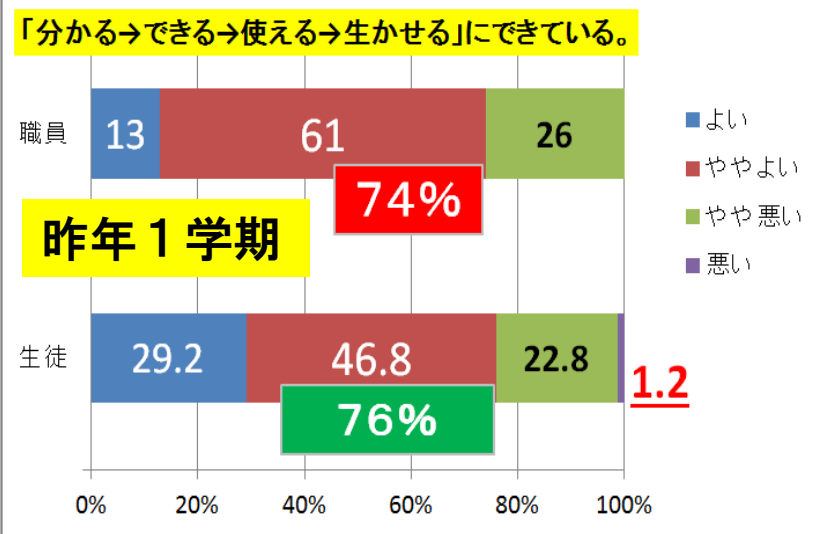


「分かる→できる→使える→生かせる」にできている。



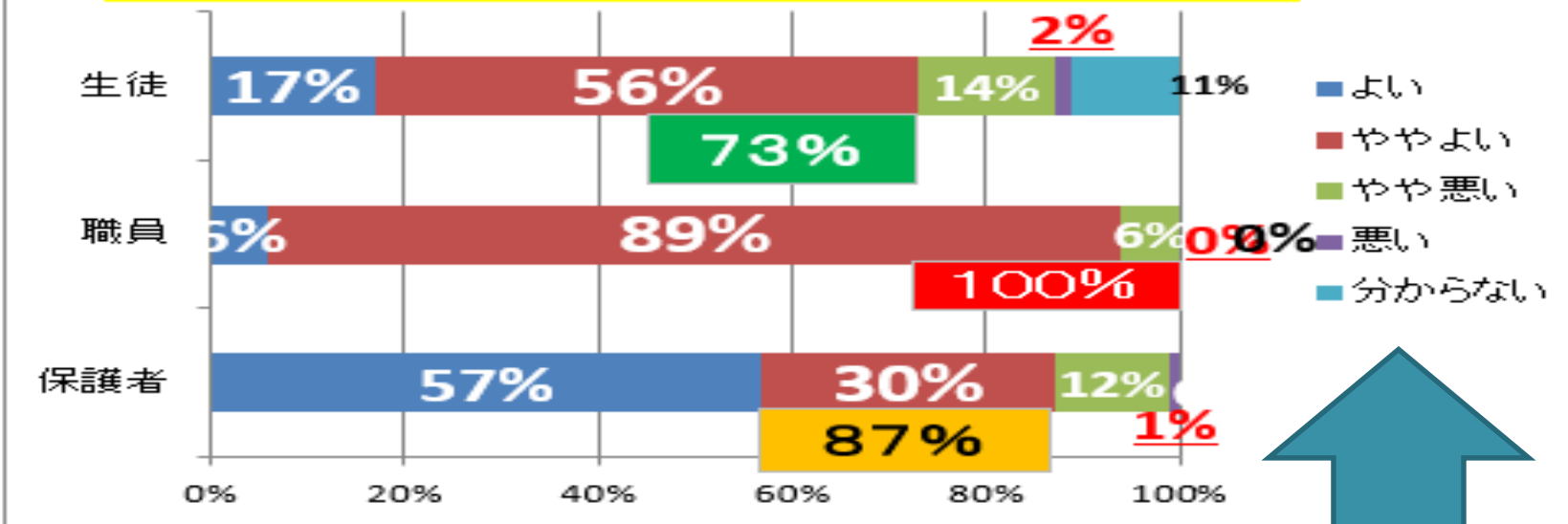
【職員質問】
「分かる→できる→使う」が「生かせる」につながる授業に努めたか。
【生徒質問】
授業では、「分かる」が「できる」に、「できる」が「使う」に、「使う」が日常生活に「生かせる」ように取り組むことができる。

◎ 昨年度と比較して、生徒も保護者も、教師の「いじめ問題への対応」についての評価は低い。



5 学習面

学習指導及び学習内容の理解について



【生徒質問】

授業では、分からないことをそのままにせず、分かるまで、友達や先生教えてもらったりにして、その時間に分かるよう取り組んでいる。

【職員】

生徒の理解状況に合わせた学習指導の工夫・改善を行っているか。

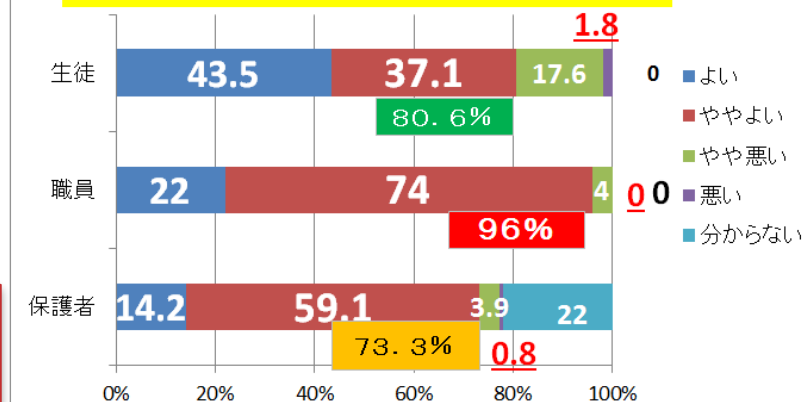
【保護者質問】

学校は、分かりやすい授業や補充指導を行っている。

△ 生徒の評価は低くなっている。
分からないことをそのままにしている生徒が多くなっている。

◎ 保護者の評価は高くなっている。

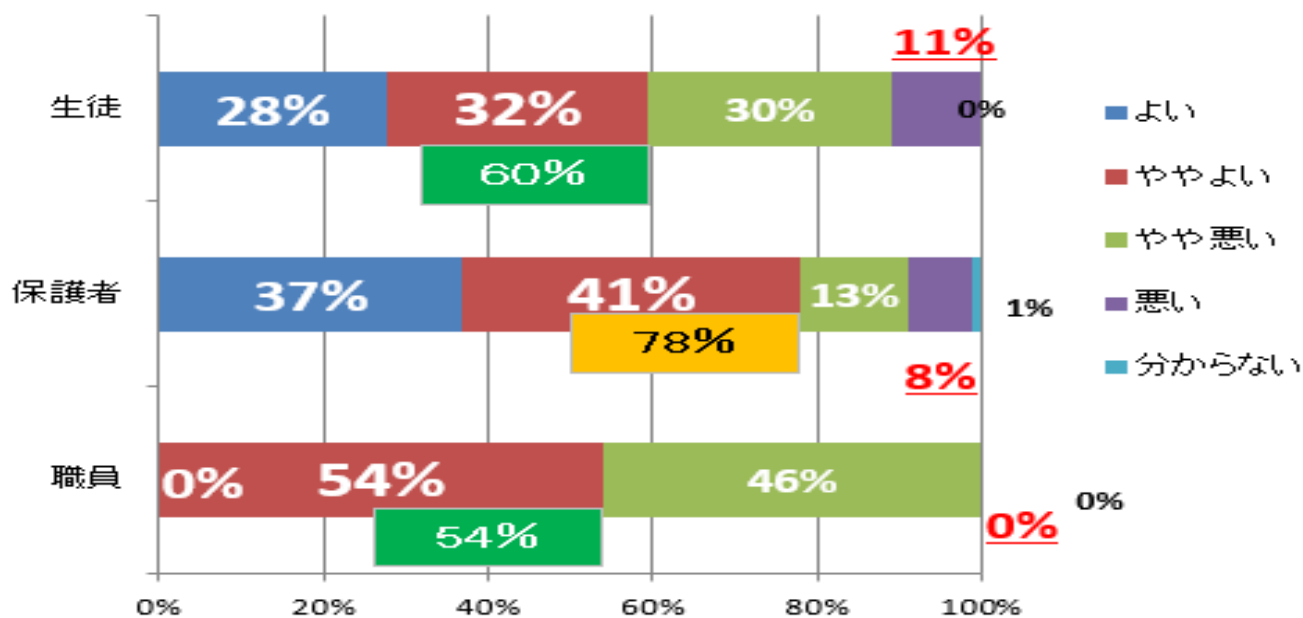
学習指導及び学習内容の理解について



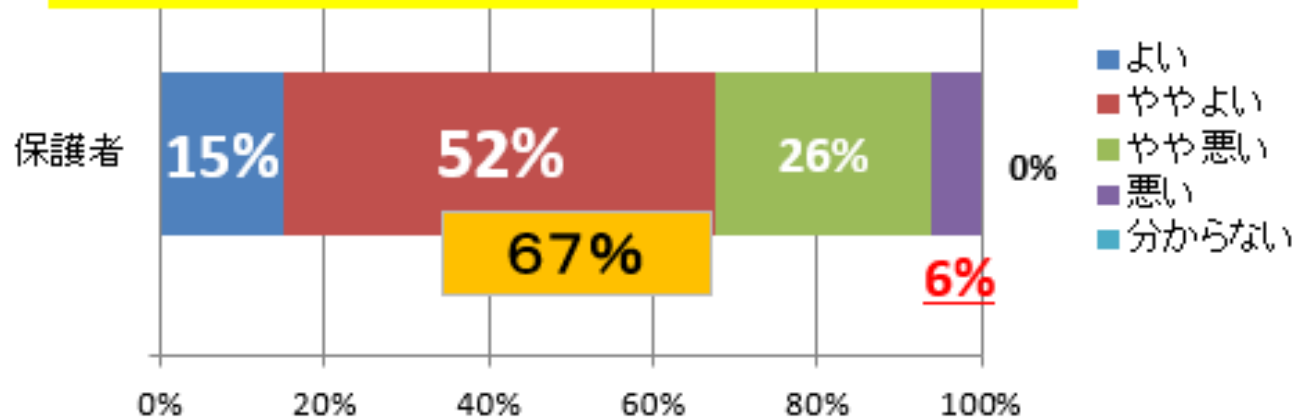
昨年1学期

5 学習面

家庭学習について(90分以上している。)

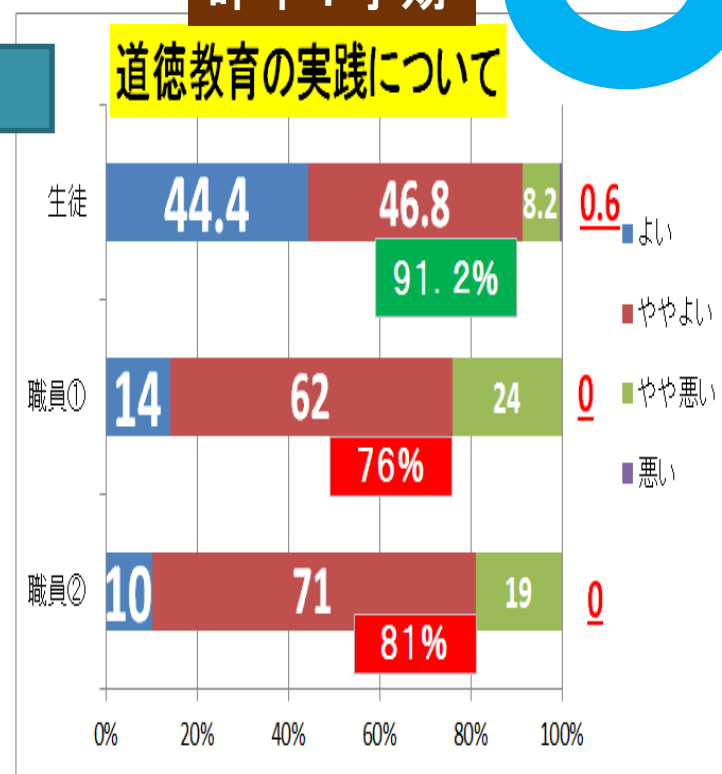
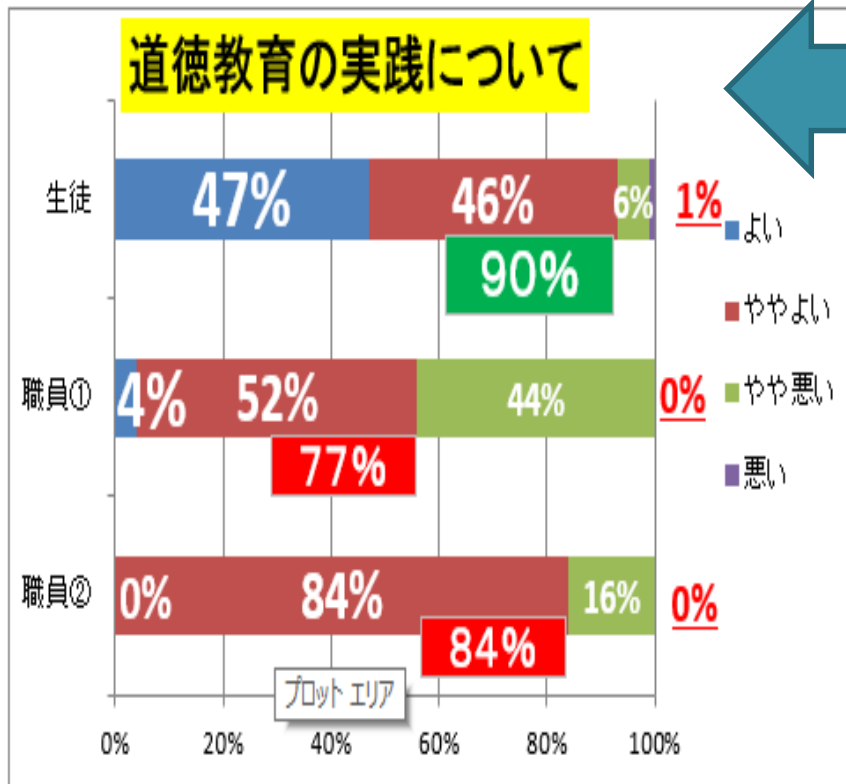
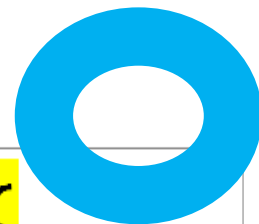


家庭では, 親として子どもの学習の見届けをしている。



6 道徳科について

昨年1学期



◎ 職員の「道徳科」への取組の評価は高くなっている。

ローテーション道徳や「評価」についての研究がより進んでいる効果が現われているものと思われる。

【生徒質問】

道徳の授業をとおして、道徳的価値(22の心の種)について、自分で考えたり、友達の考えを聴いたりしながら、これから先のよりよく生きようとしている。
(授業で考えたことを実践している。)

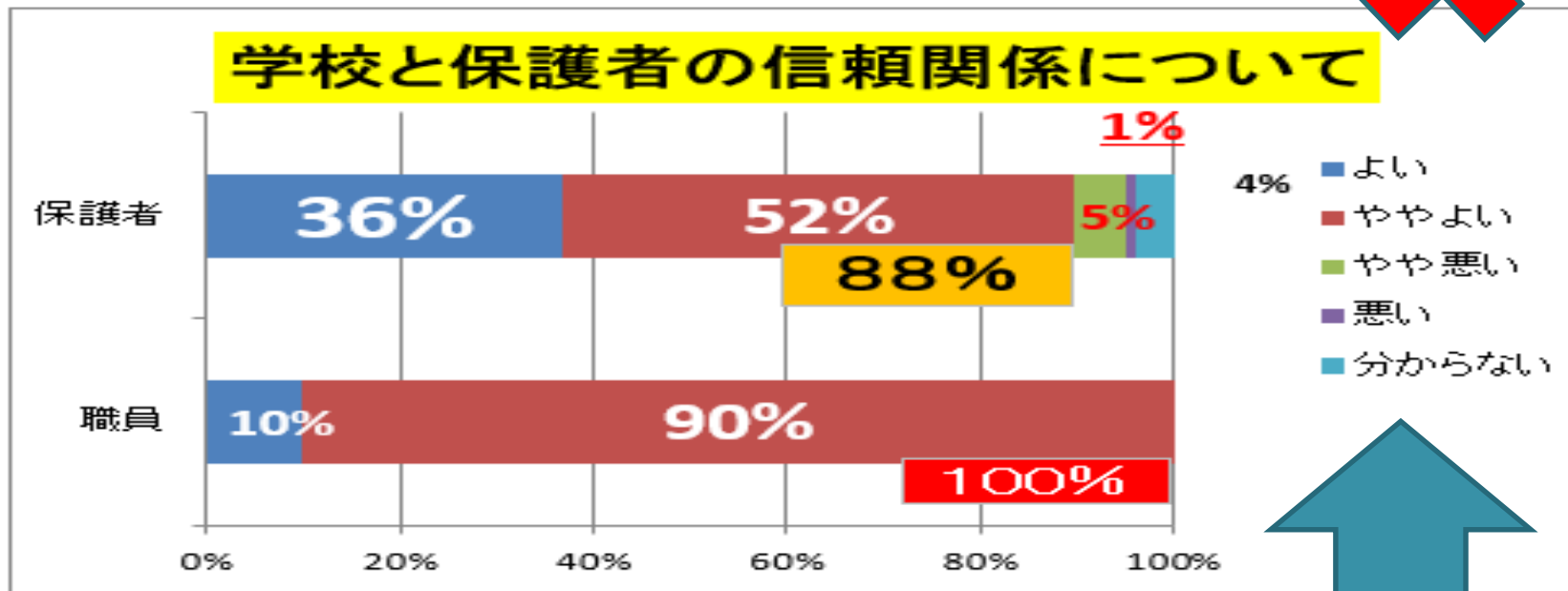
【職員①】

「考え、議論する」道徳の授業実践ができています。

【職員②】

「生徒の考えや道徳性の成長が見とれる評価ができていますか。」

6 信頼関係について



【保護者質問】

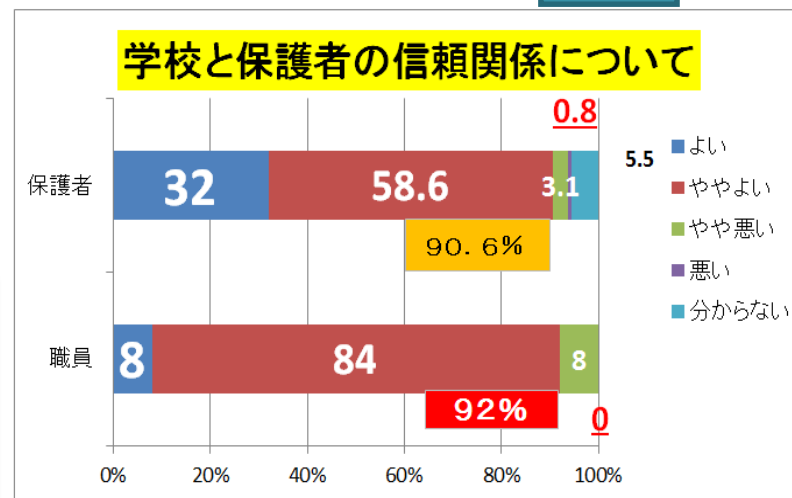
学校は、家庭への連絡等を積極的に行うなど、信頼関係づくりに努めている。

【職員】

生徒・保護者や地域から信頼される学校となっているか。

※ 教職員は、ある程度信頼を得ていると考えているが、保護者からの信頼は、昨年度より低くなっている。

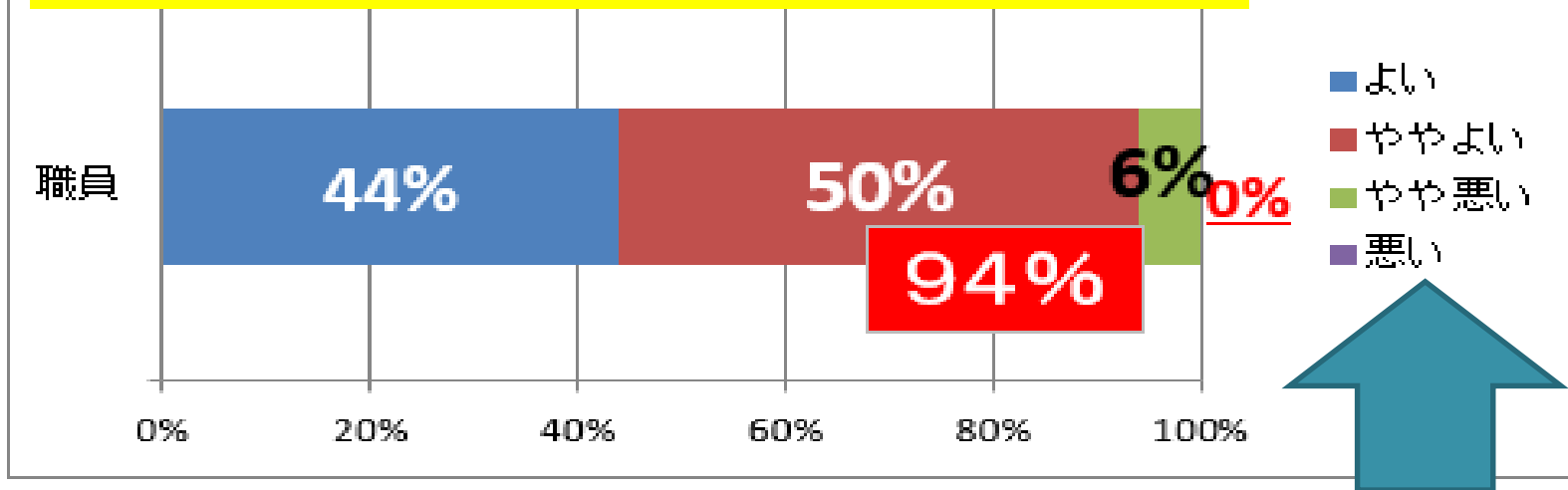
どこに問題があるのか、考え対応していくことが求められている。



昨年1学期

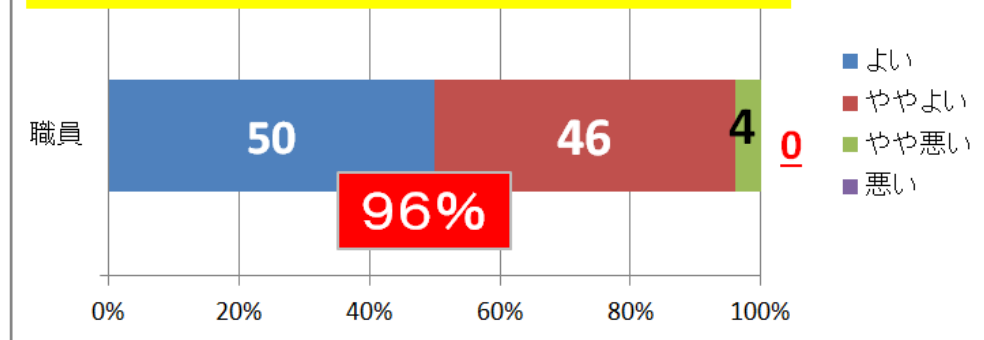
7 生徒指導態勢について

共通理解・共通実践のチーム体制の構築ができています



昨年1学期

共通理解・共通実践のチーム体制の構築ができています



【保護者質問】

学校は、家庭への連絡等を積極的に行うなど、信頼関係づくりに努めている。

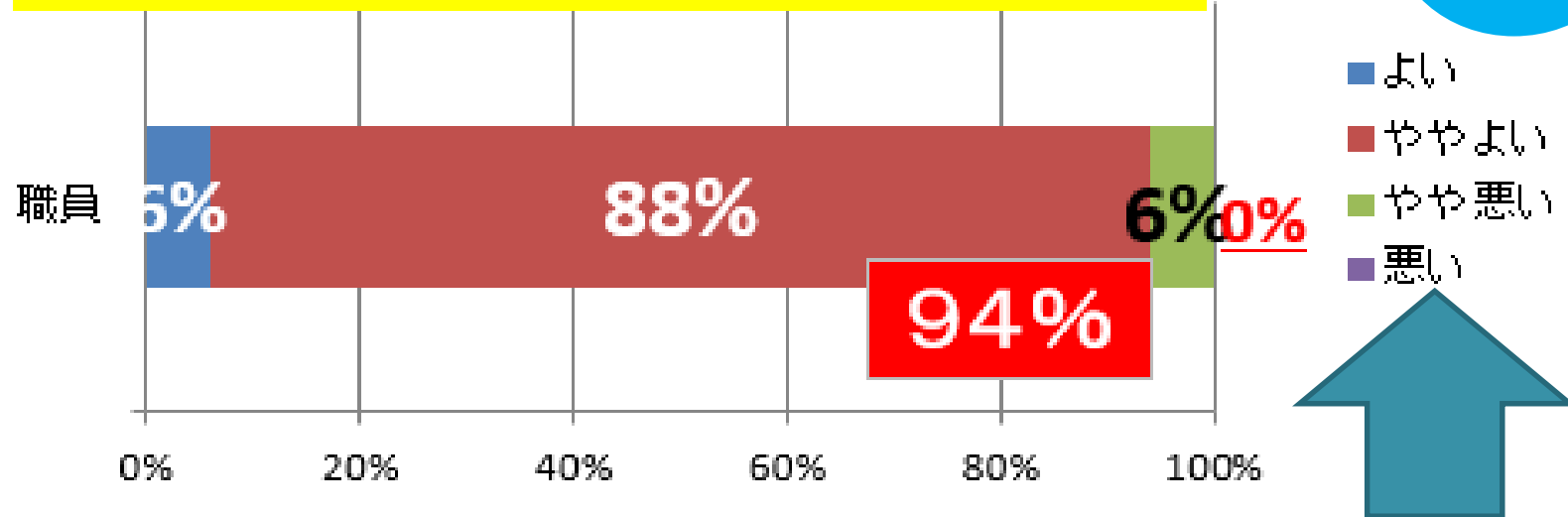
【職員】

生徒・保護者や地域から信頼される学校となっているか。

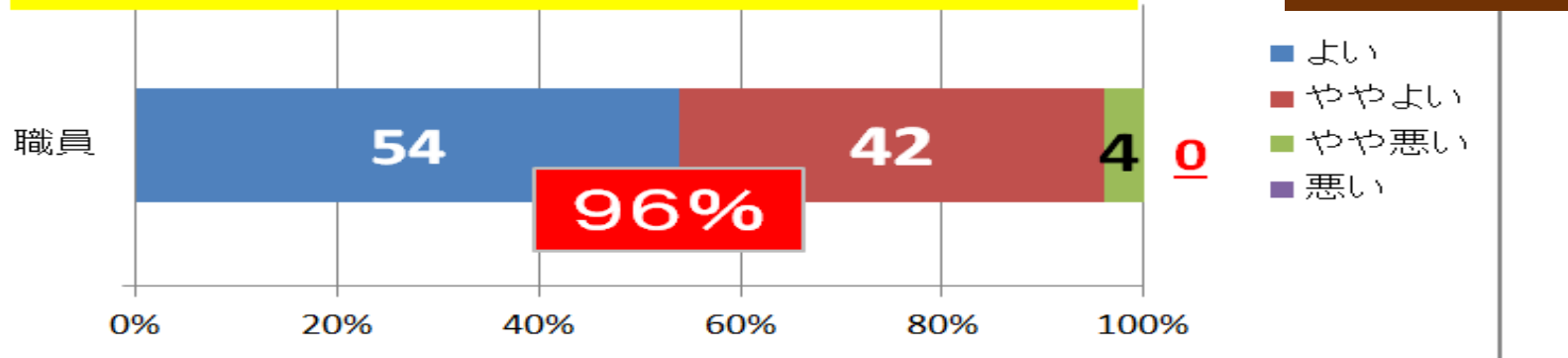
※ 90%以上の評価である。

7 生徒指導態勢について

基本的な生活習慣の育成に努めている。

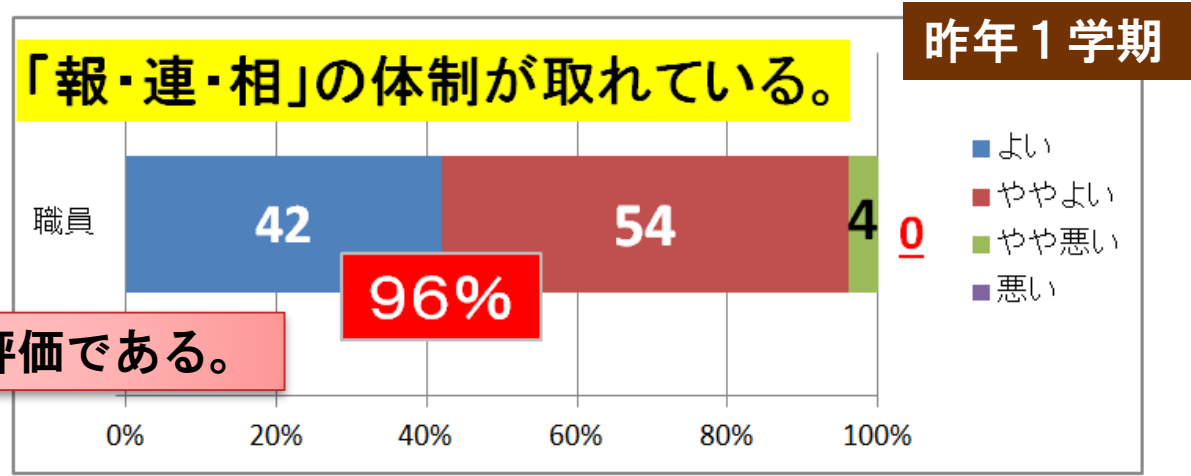
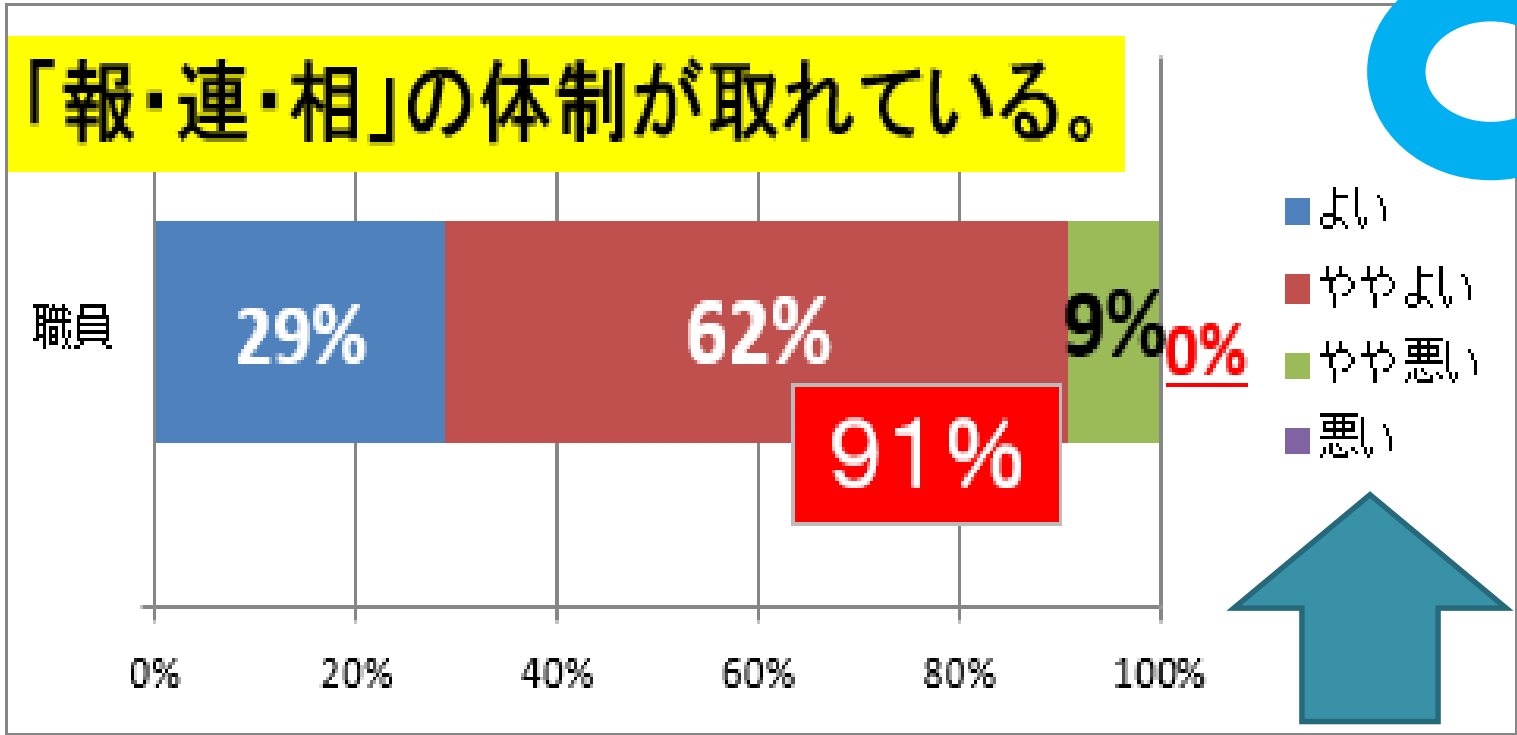


基本的な生活習慣の育成に努めている。



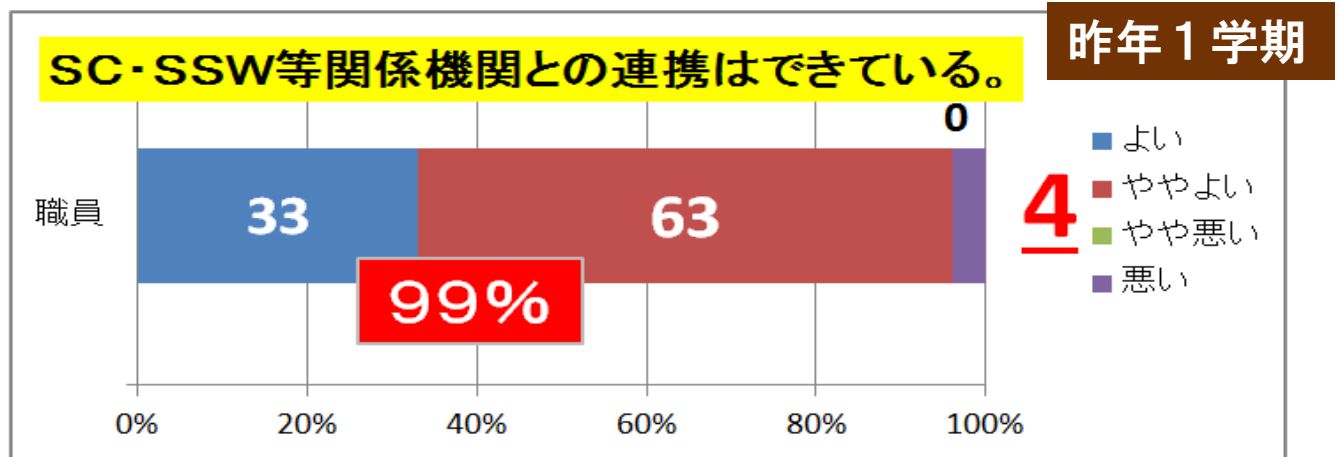
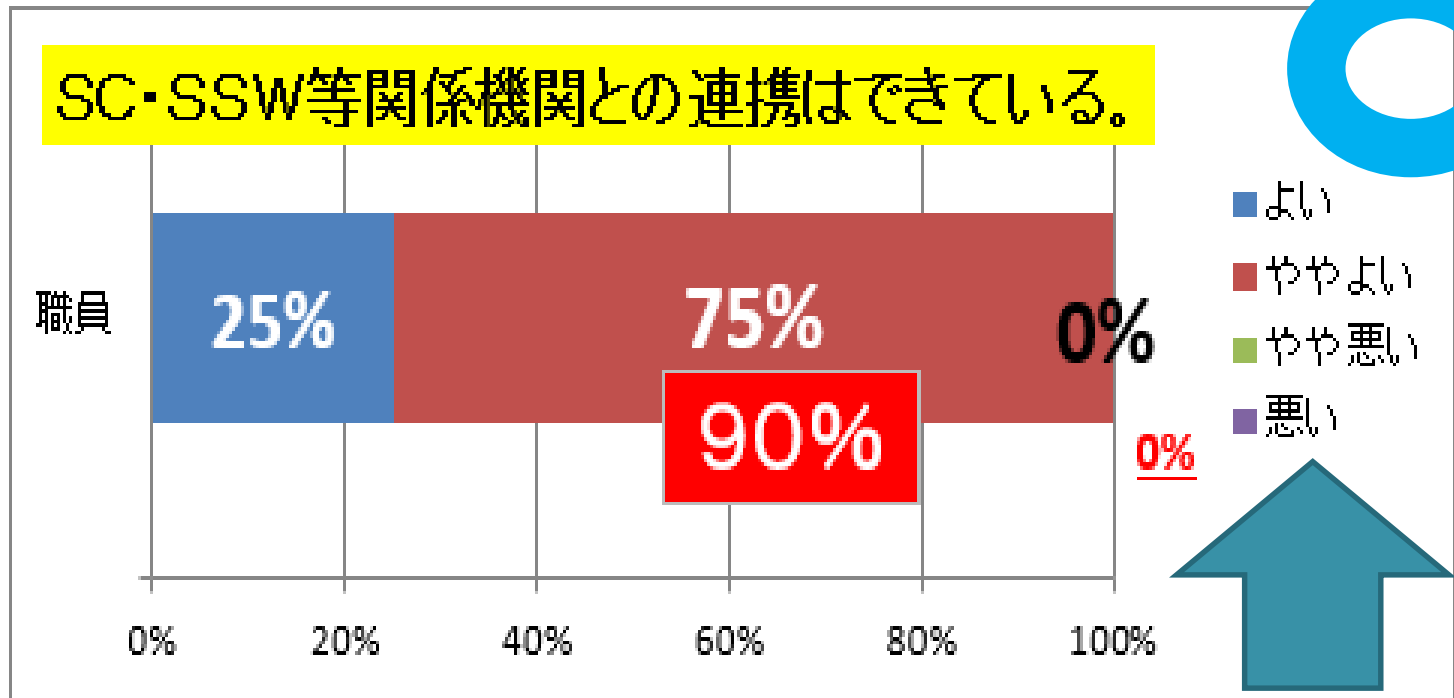
※ 90%以上の評価である。

7 生徒指導態勢について



※ 90%以上の評価である。

7 生徒指導態勢について



7 生徒指導態勢について

